

小林光政氏とは誰ぞ（改訂稿）
—大正・昭和戦前期警察史の一齣—

（令和 4（2022）年 8 月 13 日（土）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）……………1
1 小林光政氏の警察史的位置付 ……………1
2 小林光政氏とは ……………1
3 小林光政氏関係文献 ……………2
【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）……………3
【関連事項】……………4

（補正経緯）

HP 初出: 平成 22（2010）年 9 月 25 日（土）初稿作成
令和 4（2022）年 8 月 13 日（金）改訂稿作成
（レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。）

1 小林光政氏の警察史的位置付

小林光政氏（1892～1962）は、大正、昭和年代の著名な内務官僚、新聞人であり、内政関係等で様々な御業績があることは周知のとおりである。ただ、有名な『台湾総督府警察沿革誌 第二篇領台以後の治安状況中巻—台湾社会運動史—』（台湾総督府警務局、昭和 14 年 7 月 28 日刊）の基になった『治安状況』（台湾総督府警務局保安課編纂、昭和初刊か？）をまとめた人物、あるいは、高橋雄豺博士（1889～1979、大正 4（1915）年内務省入省）の読売新聞社入社を仲立ちした人物という点については、あまり知られていないことと思われるので、本稿において、一、二言及しておくこととする。

2 小林光政氏とは

（大正 6（1917）年東大法卒、内務省入省）

・各種人名録（省略）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%8F%E6%9E%97%E5%85%89%E6%94%BF>〉

・デジタル版「日本人名大辞典+Plus」の解説「小林光政 こばやし-みつまさ」

〈<http://kotobank.jp/word/%E5%B0%8F%E6%9E%97%E5%85%89%E6%94%BF>〉

〈<https://kotobank.jp/word/%E5%B0%8F%E6%9E%97%E5%85%89%E6%94%BF-1075681>〉

「1892-1962 大正-昭和時代の官僚、新聞経営者。明治 25 [1892] 年 1 月生まれ。青森・高知県知事、文部省教学局長などを歴任。昭和 15 [1940] 年退官後、正力松太郎 [1885～1969] にまねかれ、報知新聞社副社長、読売新聞社専務をつとめた。昭和 37 [1962] 年 7 月 9 日死去。70 歳。栃木県出身。東京帝大卒。」正力松太郎 [1885～1969]：下記サイト参照。高橋雄豺：大正 4 (1915) 年入省。

〈 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%AD%A3%E5%8A%9B%E6%9D%BE%E5%A4%AA%E9%83%8E>〉

〈 <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%8F%E6%9E%97%E5%85%89%E6%94%BF> 〉
・新川忠孝「小林光政」『栃木県歴史人物事典』（下野新聞社、平成 7 年 7 月 27 日刊）265 頁

・『読売新聞百年史』（未見）、鎌倉亀久馬『栃木県の新聞史 上』（未見）

3 小林光政氏関係文献

・鷺巣敦哉¹ (1896～1942)「警察界道聴塗説 栄転せし小林光政氏 本島社会運動史等」『台湾警察時報』第 282 号（昭和 14 年 5 月 10 日刊）96 頁以下 ⇒『鷺巣敦哉著作集 V』（緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）414、415 頁に再録。

同氏は、大正 14 (1925) 年 5 月～昭和 3 (1928) 年 8 月台湾総督府警務局保安課長であったが、在任中、台湾高等警察史上当時最も貴重な文献であった領台以後大正末頃までの台湾思想運動の経緯を述べた『治安状況』（台湾総督府警務局保安課編纂）をまとめた。⇒これは、日本統治下台湾史検討上最重要文献の一つである『台湾総督府警察沿革誌 第二編領台以後の治安状況 中巻 一台湾社会運動史一』（台湾総督府警務局編、昭和 14 年 7 月 28 日刊）に繋がるものである。

・高橋雄豺博士² (1889～1979) の読売新聞社入社（昭和 8 年 1 月読売新聞社入社、最初は外報部長）を斡旋する（『高橋雄豺氏談話速記録』（第 1 回、会期：昭和 39 年 1 月 31 日、第 2 回、会期：昭和 39 年 2 月 24 日、内政史研究会、内政史研究資料第 12、17 集、タイプ謄写印刷）参照。）。

第 1 回：33 頁上段：「だから私 [高橋] が今日元気に社会に働いているのは、三土 [忠造、1871～1948] 先生の二度も三度も私の役人への復活に反対してくれたお蔭だということになる。本当に人間の運命なんていうものは全くわからないですね」

第 2 回：4 頁下段：「ところがこの小林 [光政] が読売でですね、……小林が間に入って、勧められてそれで [読売新聞に] 来た。」

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4 (2022) 年 8 月 13 日追加）

¹ 本 HP 別稿「鷺巣敦哉と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」（平成 17 (2005) 年 3 月 15 日作成、逐次補正中）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>〉

² 本 HP 別稿「高橋雄豺博士著作目録（再訂稿）」（平成 19 (2007) 年 8 月 3 日作成、逐次補正中）参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 一明治警察史の一齣—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（靈山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>〉
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>〉
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>〉
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』 検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>〉
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>〉
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>〉
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」（本稿）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf>〉
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>〉
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf>〉

【関連事項】（令和4年8月13日追加）

- ・法制史学会： 〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館： 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）

〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉

- CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉 (【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について)、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

(了)